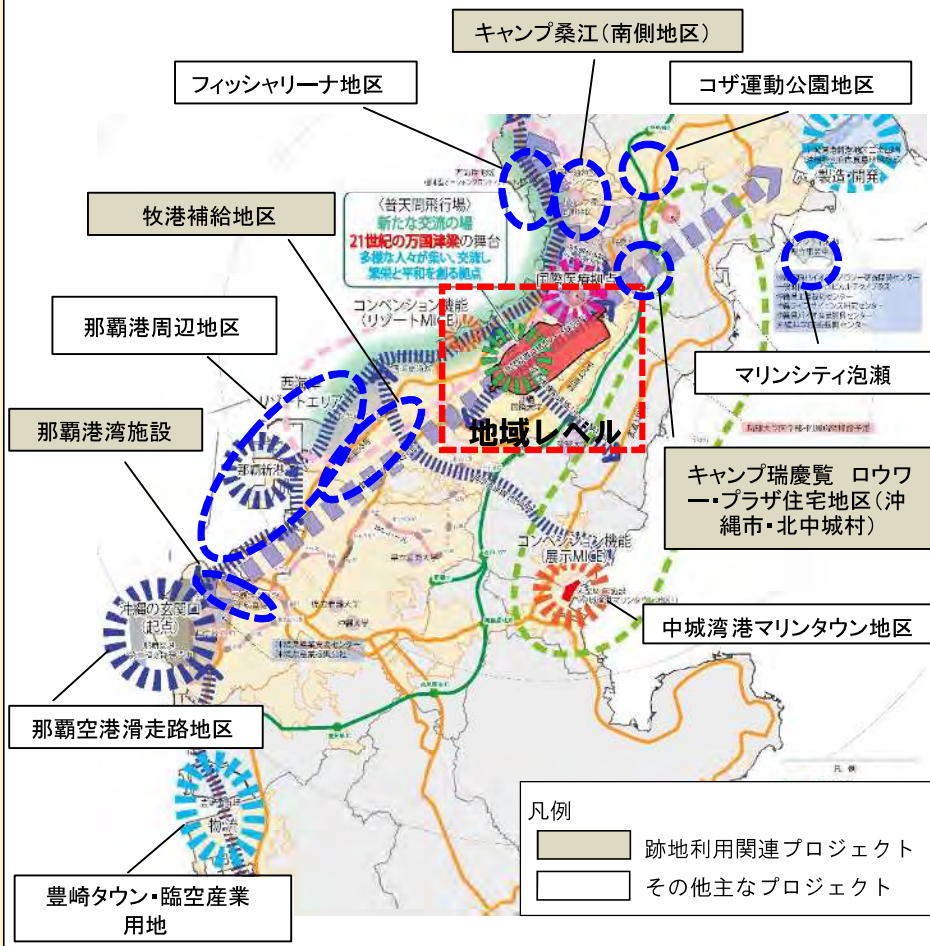


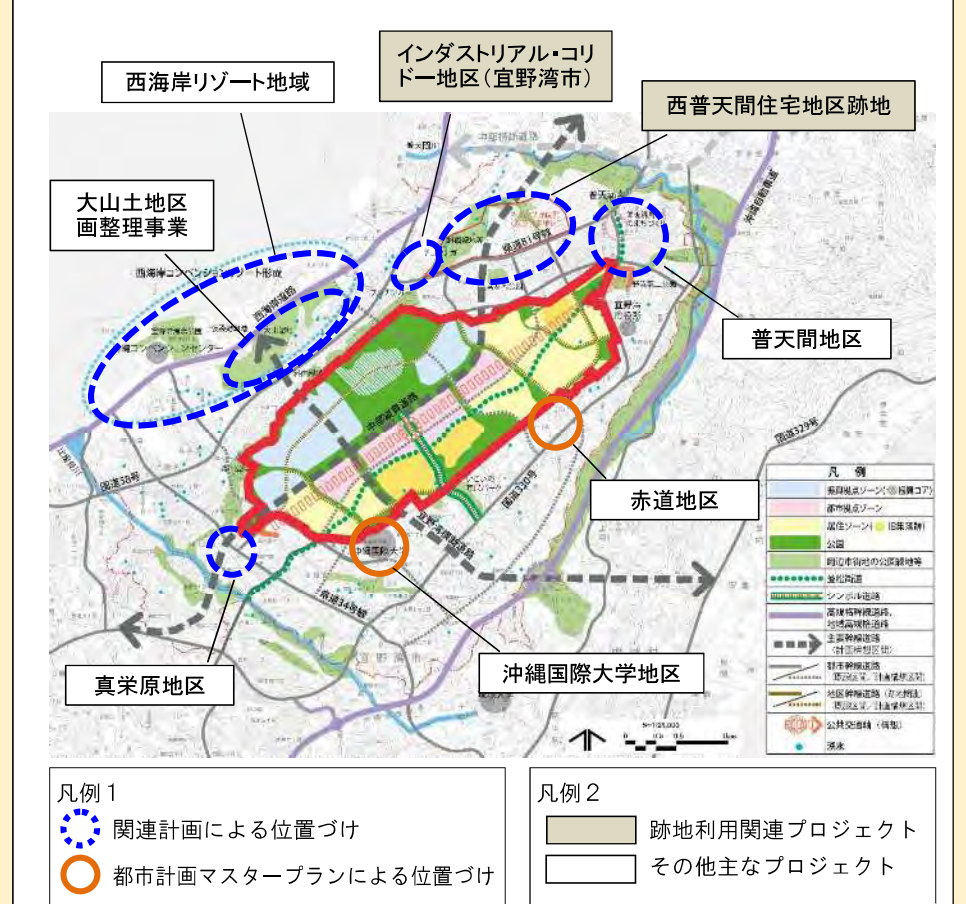
普天間飛行場周辺の開発動向について

- ・ 周辺地域の開発動向は、広域レベルでは西海岸地域に連担する駐留軍用地の返還地や東海岸地域の開発動向との連携した取組みが必要。
- ・ 地域レベルでは、西普天間住宅地区跡地や本市2地区の商業地域における基地周辺のまちづくり事業が進捗。

○広域レベルの開発動向



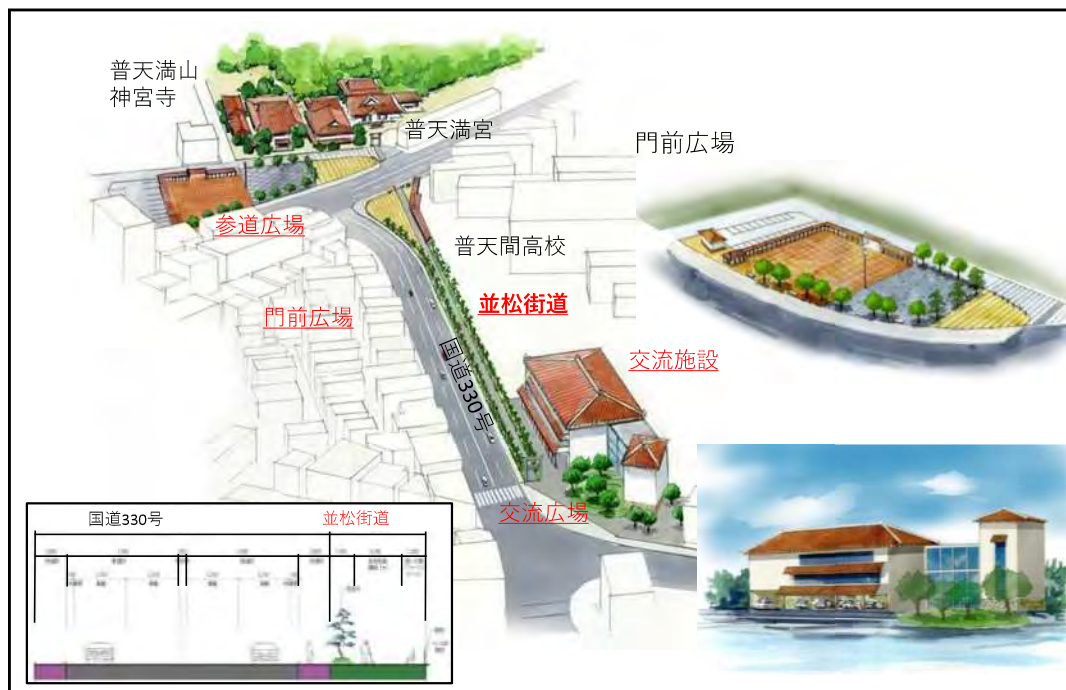
○地域レベルの開発動向



普天満宮門前町まちづくりについて

- ・本市の2箇所の商業地域である普天間地区・真栄原地区を軍用地の一部返還により計画が進む市道宜野湾11号で連携させることにより、両地区に交流拠点の形成を図る。
- ・普天間地区においては、沖縄平和祈念像原型を活用した平和学習などを行う交流施設を整備し、普天満宮までの参道に「並松街道」を整備する予定。
- ・「並松街道」は、首里王府により宿道に植栽され戦前国指定の天然記念物であった宜野湾の歴史・文化のシンボルであり、普天間飛行場の跡地利用においても復元を検討。

①普天間地区イメージ



②真栄原地区イメージ



普天間飛行場の現況（自然環境・文化財等調査）

- ・ 普天間飛行場内には、多くの緑地や地下水、洞穴・地下空洞等の自然環境資源、遺跡や旧集落跡等の歴史・文化資源が存在。
- ・ 現存する資源の保全・活用を含め、円滑に跡地利用を進めていくためには、返還前の段階からの基地内における立ち入り調査が必要。



樹林



洞穴



湧水



大山田イモ畑



並松街道（戦前）